

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生状況（技術情報第10号）について（送付）

トビイロウンカの発生状況については、平成29年9月6日付技術情報第7号で発表しましたが、その後の発生状況及び防除対策を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考として御活用ください。

#### 記

9月上旬以降トビイロウンカの発生が増加しているため、坪枯れの発生に注意する。坪枯れが発生したほ場では可能な限り収穫を早める。

9月中旬に県内20ほ場の普通期水稻でトビイロウンカの発生状況を把握するため払落し調査を行った。

#### 1 発生状況

- (1) 9月中旬の調査では若齢幼虫を中心に10株当たり平均成幼虫数が24.1頭（平年13.2頭）と平年よりやや多く、平年に比べ少なかった9月上旬の8.1頭（平年27.3頭）から急速に増加している（図1、表1）。
- (2) 9月中旬の発生ほ場率は100%（平年85.5%）であり、9月上旬（本年83.3%、平年68.4%）から平年よりやや高い状態が継続している（図1、表1）。
- (3) トビイロウンカの密度、発生ほ場率ともに高まっていることから、坪枯れの発生に十分注意する必要がある。

#### 2 防除対策

- (1) 普通期水稻は収穫期直前であることから、以下に注意する。
  - ・ 収穫が遅れると坪枯れが生じる恐れがあるため、適期に収穫する（なお、農薬を使用する場合は、収穫前使用日数を遵守する）。
  - ・ 坪枯れが発生したほ場では可能な限り収穫を早め、坪枯れに伴う減収被害の拡大を防ぐ。
- (2) 収穫時期が10月下旬以降となる晩生品種においては、今後トビイロウンカの密度が高まると考えられるため、要防除水準（収穫30日前：30頭/10株）を超える場合は農薬の使用基準に注意して防除を行う。
- (3) 粉剤及び液剤は、トビイロウンカが多く生息する株元に付着するよう散布する。
- (4) トビイロウンカは、イミダクロプリド剤やBPMC剤に対する感受性が低下している（平成28年3月4日付技術情報第15号 [http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/H27/yosatu/160304gi\\_jyutu.pdf](http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/H27/yosatu/160304gi_jyutu.pdf) 参照）ので、防除に使用する薬剤の選定には注意する。
- (5) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

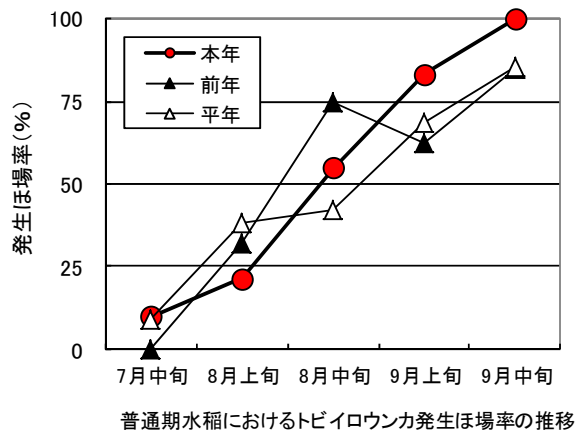
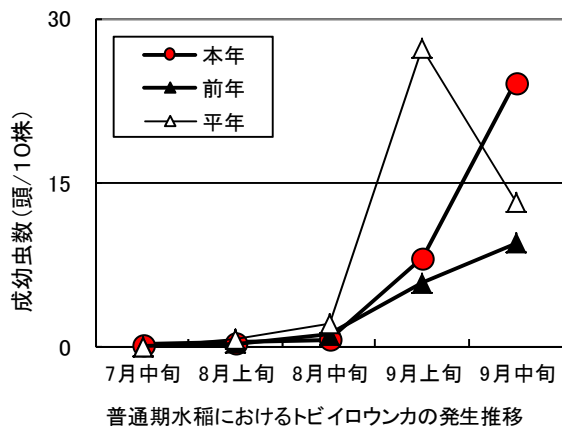


図1 普通期水稲での発生推移（左：成幼虫数、右：発生ほ場率）

表1 トビイロウンカの発生状況

10株当たり虫数

地点名	成虫				幼虫			計
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢	
熊本市画図1	0.4	0.4	0	0.8	0	1.2	0.8	3.6
熊本市画図2	1.2	1.6	0	0.8	0.8	0	246.4	250.8
熊本市中無田1	0.4	0.4	0	0	0	0	2.4	3.2
熊本市中無田2	0.4	0.4	1.2	0.8	1.6	4.4	32.4	41.2
熊本市富合町守富1	0	0.8	0	0	0	0.4	8.4	9.6
熊本市富合町守富2	0.4	0	0	0	0	2.8	63.2	66.4
玉名市北牟田1	0	0	0	0.8	0	0	0	0.8
玉名市北牟田2	4.8	2.4	7.6	19.2	17.2	15.6	12.4	79.2
山鹿市南島1	0	0	0	0	0	0	1.2	1.2
山鹿市南島2	0	0.4	0	2.0	0.4	1.6	4.8	9.2
菊池市今1	0	0	0	0.4	0.8	2.0	12.4	15.6
菊池市今2	0.4	0.4	0	0.4	0	0.4	11.2	12.8
大津町新1	1.2	0.8	0	0.8	0	2.0	26.4	31.2
大津町新2	0.0	0	0	0.4	0.4	2.4	3.6	6.8
嘉島町下仲間1	0.8	0	0	0.8	0.4	6.0	73.2	81.2
嘉島町下仲間2	0	0.4	0	1.2	0	0.8	34.8	37.2
氷川町若洲1	0	0.8	0	0.8	0	0	27.6	29.2
氷川町若洲2	0.4	0	0	0.0	0	0	1.2	1.6
芦北町花岡1	0.4	0.8	1.2	1.2	0.4	1.2	0	5.2
芦北町花岡2	1.2	1.6	0	4.0	5.2	6.0	5.2	23.2
平均(19地点)	0.6	0.5	0.5	1.8	1.4	2.5	16.9	
	成虫 計			3.4	幼虫 計		20.8	
計(成虫・幼虫)	24.1							
平年	13.2							
発生ほ場率	100%							

注1) 1地点につき、25株調査

注2) 平均値は熊本市画図2を除く19ほ場の平均

注3) 計はラウンドの関係で一致しない

熊本県病虫害防除所  
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
 病虫害研究室 予察指導係)  
 担当：春山、加賀山 TEL 096-248-6490